

特集

みみぐすい
ゆちぐすい知ってましたか？
音読ボランティアのこと
傾聴ボランティアのこと

新しい遊具がキター！

新しい遊具で元気いっぱい
に遊ぶ子どもたち

2月8日、西崎太陽児童センターで、新しい遊具のお披露目式が行われました。新しい遊具は、すべり台やうんていなどが一体となったコンビネーション遊具で、平成22年度自治宝くじ助成事業を活用して設置されました。

お披露目式では、同センターを利用している子どもたちが、たいこのアトラクションを披露。記念のくす玉が割られると、子どもたちは一斉に遊具に駆け寄り、元気いっぱいに遊んでいました。

平成22年度全国高等学校総合体育大会（バドミントン競技）糸満市実行委員会の解散総会が2月16日、糸満市農村環境改善センターで行われました。

同総会で、上原裕常市長は「市民総力をあげて成功させることができました。大会で得た成果を地域スポーツの振興に生かしていきたい」とあいさつ。

競技・運営面に積極的に貢献し糸満市開催を盛り上げた21の個人・団体に感謝状が贈られました。



21の個人・団体に感謝状



県柔道選手権大会、伊禮俊選手優勝

2月5日に県立武道館で行われた「第47回沖縄県男子柔道選手権大会」で、本市西崎出身の伊禮俊選手（24）が初優勝、与座出身の伊敷吉高選手（24）が3位に入賞。2月15日、上原裕常市長へ喜びの報告に訪れました。

同大会は無差別で行われるもので、伊禮選手は、昨年は決勝で敗退。悲願の初優勝に「優勝できて嬉しい。この結果に満足することなく、大会連覇を狙いたい」と話し、伊敷選手は「来年は、伊禮と決勝戦で戦えるように頑張りたい」と、意気込んでいました。



知ってましたか？ 音訳ボランティア、傾聴ボランティアのこと



3月3日は耳の日です。
耳の日は、難聴や言語障害などがある方の悩みを少しでも解決したいという社会福祉への願いから始められました。
今回の特集「みみぐすい（耳の薬）ぬちぐすい（命の薬）」では、障害者や高齢者など、地域の声にやさしく耳を傾け、語りかけ（みみぐすい）、地域を明るく元気にさせる（ぬちぐすい）ボランティア団体を紹介します。



右/お助けマンちむちむ事務局の大城ゆかりさん 上/定例会



「心(ちむ)」と「心(ちむ)」をつなぐ
傾聴ボランティア。一人で悩まないで
「助けられ上手になろう」

は、きめ細かに規則を設けるところがあります。トラブル等を回避するためには大切なことですが、規則で縛りすぎると身構えてしまう部分も出てきます。ちむちむの活動は始まったばかり。これまでの活動状況や利用者等の声を聴きながら、糸満市らしい傾聴ボランティア活動にしていきたいですね」と、笑顔で話します。

平成23年度には、これまでの活動に加え、希望する自治会に対し傾聴ボランティアの出前講座を実施する予定です。各地域単位で傾聴ボランティアの輪を広げ、一人でも多く必要としている人たちを見つけ、支えていくのが目的です。

「助けられ上手になろう」と話す、大城さん。

「『助けます』はできても『助けて』とはなかなか言えない。何かあって困った時、全部一人で抱えこまないで、自分は困っているんだと発信してほしい。その発信に周囲の人が気づくことが一番大切であり、糸満市には、ちむちむがあることを伝えてほしいと思います」。

「傾聴ボランティアに興味を持った方は、ぜひ一緒に活動しましょう。特別な資格は必要ないんですよ。ボランティアは、自分がやりたいと思った時から始まります」。

Members' Voice

地域のお年寄りを支えていきたい
仲西ミヨさん (66)



民生委員をやりながら、傾聴ボランティアは必要だと感じました。とくに喜屋武地区にはお年寄りが多いので、地域のお年寄りと協力しながら、地域のお年寄りを支えていきたいです。

地域に恩返しがしたくて始めました
亀甲八重子さん (63)



郵便局員時代、たくさんの人にお世話になったので始めました。利用者の皆さんが元気になって、喜んでもらえるところにやりがいを感じています。傾聴ボランティアのことをたくさんの人に知ってもらいたいですね。

地域には話相手が必要としている人がいます
坂口貴生さん (31)



糸満市地域相談センター職員として傾聴ボランティアの皆さんと関わっています。地域には話相手が必要としている方がいます。傾聴ボランティアは、比較的、始めやすいボランティアだと思うので、気軽に参加してほしいです。

傾聴ボランティア「お助けマン・ちむちむ」(以下、ちむちむ)は、糸満市高齢者権利擁護委託事業の一環として糸満市社会福祉協議会を事務局に、平成21年4月1日、県内他市町村に先駆けて始まりました。

傾聴ボランティアとは単に話を聴くだけではなく、相手の気持ちに寄り添い、心で聴いて受け止める活動です。孤独や不安を抱える高齢者や障害者世帯などを訪問、話を聴くことで相手との信頼関係を築き、寂しさ等を癒し、和らげます。

ちむちむの事務局を務める同協議会の大城ゆかりさん(31)は「地域には、相談員だと荷が重いくけど、傾聴ボランティアだと自分でもできそうという方がいました。以前から、話を聴いてほしいという地域のニーズは高いと感じていました」と話し、平成19年、同協議会は、各種専門機関や行政と連携しながら、傾聴ボランティア養成に向け動き始めます。平成20年10月、傾聴ボラ

ンティア講座が開講し、21人が受講。翌年には15人が受講し、傾聴ボランティアの意味や意義を学び、基本的なスキルを身につけます。平成21年4月1日、心(ちむ)と心(ちむ)をつなぐ活動内容から、お助けマン「ちむちむ」という名称で、受講者を中心に県内初の傾聴ボランティアがスタートします。現在、20、80代までの市民ボランティア40人が登録しています。

主な活動は、個人宅訪問のほか、グループホーム等の施設訪問、定期的に勉強会等を開いていきます。「地域や行政などに関われない人たちが、ちむちむが見つけているように感じます。地域から孤立しないようにするのが傾聴ボランティアの役割の一つなんです」と大城さん。

現在では、豊見城市や北谷町でも傾聴ボランティアが始まっています。大城さんは「ここまで傾聴ボランティアとして利用者と関わっていくべきか、県外自治体の中に

お助けマン
ちむちむ



INTERVIEW

金城守さん(44)



広報紙の音訳を聴いた時 昔見た風景が蘇ってきたね。

「目が見えないということは情報が入ってこないということなんだよ」と話す金城守さん。金城さんの目が見えなくなったのは11年前。それまで当たり前のように入ってきた情報が途絶えてしまい、5年前、必死の思いで見つけたのがラッキーマウスの音訳テープでした。「沖縄県や国の情報は、ラジオやテレビから入ってくるけど、糸満市や地域のことは耳に入らない。住んでいる地元がどうなっているのか分からなかった。広報紙の音訳テープを初めて聴いた時、2～30年前に見た広報紙や昔見た風景が蘇ってきたね。人口が増加していたり、糸満市は、こんなに発展しているんだと嬉しかった。毎月楽しみにしているよ」。

最近の広報記事について「去年の美ら島総体での高校生特集は良かった。後輩の頑張りに励まされたよ。私のように情報を求めている視覚障害者はたくさんいるので、皆さんが音訳サービスを利用できるようになってほしい」と話していました。

地域に視覚障害者がいれば「ラッキーマウス」のことを伝えてほしい

す。「広報紙には、作文コンテストの入賞記事等が掲載されますよね。入賞者本人に読んでもらって生の声を伝えたい。また、地域の話題を小学生が一生懸命練習して読めば感動は伝わります。そうなると思えば音訳は視覚障害者だけでなく、高齢者なども楽しめます」と笑顔で話す、大城さん。

「視覚障害者や高齢者などの情報弱者の中でも、さらに情報格差があります。パソコンや行政等に出向いて積極的に情報を求めて動く人もいれば、できない人もいます。広報紙は全世帯に等しく配布されていますが、紙ではなく声を必要としている人たちがいます。とくに糸満市は音訳サービスクリア対象者の情報が入ってきません。行政、福祉の連携・強化はもちろんですが、地域からの声、情報提供がほしい。地域の皆さんに、必要としてい

る人を見つけたら、音訳ボランティアのこのことを伝えてほしい、声の情報を届けてほしい」と、大城さんは訴えます。

対面朗読や代読サービスクリアなど音訳のニーズを掘り起こせばたくさんでてきます。そのためには音訳者の養成が必要だと話す大城さん。

「ラッキーマウスは、読むことが好きで、地域のために少しでも役に立つことができればと集まったメンバーです。皆さん、できる範囲内でやっています。約



録音もテープからパソコンへ



編集された音訳テープは各利用者へ配布されます。

必要としている人たちに、糸満市のこと(情報)を「声」で伝えたい。

ラッキーマウス



音 訳とは、墨字(文字)を音声に置き換える、音声訳のことをいいます。

音訳ボランティア・リーダーの音訳サービスクリアマウスは、糸満市社会福祉協議会で開催された音訳ボランティアの養成講座がきっかけで、平成6年12月1日に結成されました。ラッキーマウス会長の大城ひかるさん(52)は「点字は盲学校に通っていた人たちは習っていますが、病気が高齢で視力に障害がある人たちは、ほとんどが読めません。点字よりも音訳のニーズが高かったんです」と話し、現在、受講生を中心に30～60代までの市民ボランティア15人が登録しています。

主な活動は、広報紙「広報いとまん」や議会だより等の音訳テープやCDを視覚障害者へ配布しています。これまでのテープ録音からパソコンを使った録音が主流となり、音訳の世界もデジタル化が進んでいます。「朗読録音ソフトを取り入れて作業

効率が良くなりました。ただ、デジタル化が進んだからといってアナログ放送は終わりますよ、というように簡単にはいきません。カセットテープが必要な人には、これまでと同様にテープを配布しています。利用者のニーズに合わせていくことが大切です」。

音訳は、抑揚をつけず淡々と読むのが原則ですが、広報紙の音訳について「音訳者のコメントを入れたり、写真も構図だけを伝えるのではなく、多少の音訳者の解釈が入っても写真を見た時のインパクト、訴えるものを伝えるようにしています。とくに広報いとまんは写真が充実しているので、音訳する時、身が引き締まります。利用者からは、特集記事などが好評です。昔の景色が蘇ってきたとか感想を言われると頑張つてよかったと思います」と、利用者の声が何よりも励みになるといいます。

本を読むのと同じで気軽に取り組みます 矢崎友子さん(53)



音訳ボランティア歴12年。広報紙では「くらしの情報」の音訳を担当しています。地域と交流を深めたいという思いから始めました。本を読むのと同じ感覚で気軽に取り組みます。年齢に関係なく、いろいろな人たちに参加してほしいです。

音訳を必要としている人たちのために 高橋伸夫さん(68)



音訳ボランティア歴7年。写真や図などの音訳は難しいですが、とにかく間違いがないように一生懸命読んでいます。音訳ボランティアの存在は、なかなか知られていませんが、どこかで必要としている人たちに聴いてもらえるとうれしいですね。

読むことが好きなので始めました 古城京子さん(47)



音訳ボランティア歴5年。広報紙では「トピックス」と「まん・特集記事」の音訳を担当しています。読むことが好きなので始めました。社会には音訳を必要としている人たちがたくさんいます。広報紙だけでなく、いろいろな情報を届けたいと思います。

音訳ボランティア・傾聴ボランティアに関するお問い合わせは糸満市社会福祉協議会(☎994-0563)までご連絡ください。

Members' Voice



金城樹

Kikuchi Miki (2年)

①投手②6番③バース
ルがあったので気を付
けたい④試合中全力で
戦って優勝したい



大城夏穂

Oshiro Kaho (2年)

①捕手②7番③この優勝
は一生記憶に残ると思
う④絶対打ちたい、盗塁
を阻止したい



上原美希

Uehara Miki (2年)

①一塁手②4番③皆で勝ち
取った優勝、嬉しい④攻守
両方好プレーを出したい、
胸を張って試合に臨みたい



新垣佳穂

Shinkai Kaho (2年)

①二塁手②2番③半分勝
つてた④優勝を狙
っているが、まずは足元
の一回戦から勝ちたい



波平幸香

Nishihara Sachika (2年)

①三塁手②3番③最終回、
打てなかったのが悔しい
④この最高のチームで九
州制覇したい



金城麻亜子

Kikuchi Maki (2年)

①左翼手・スクアラー③
仲間が打ってくれること
を信じていた④練習の成
果を出し、優勝したい



上原可莉

Uehara Kaho (2年)

①左翼手②8番③ベスト
を出し切れなかった④涙
をのんだ他のチームのた
めにも全力を尽くしたい



玉城夏紀

Tamashiro Natsuki (2年)

①中堅手②5番(DP)③選手、
母も声を出して、励み
をくれた④守備にも参加し、
チャンスで打ちたい



上原有紗

Uehara Aika (2年)

①右翼手②DF③判断が速く、
ミスを減らした④反省や
欠点を克服し、良い実績
を残したい



大城早紀

Oshiro Saki (2年)

①主将・中堅手②9番③最
初のバッターで緊張し、三
振で終わった④感謝の気
持ちは忘れず頑張りたい



島袋玲緒

Shimabukuro Rei (2年)

①一塁手②5番(DP)③勝利
に繋ぎ、飛び回った④
今まで以上に真剣に練習
に取り組んでいきたい



伊敷七海

Inaki Natsuki (2年)

①遊撃手②1番③絶対負け
ないという気持ちがあっ
た④最後まで諦めず、糸
満市に良い報告をしたい



山内萌郁

Yamuchi Moka (1年)

①投手③もっと先輩たち
を助めたい④九州のマウ
ンドに立ち、投げてみたい



上良知咲

Uehara Chika (1年)

①三塁手③最初から負
けると思ってしまった、勝
つのはやめようと思う
④一戦一戦大切にしたい



熱田康監督

Atsu Yasuhiro

③あまり実感がなく、驚
いている、生徒たちがよ
く頑張ってくれた④九州
制覇、まずは一回戦勝利



試合での緊張に慣れるため、練習の始まりと
終わりに大きな声で戦意を叫ぶ



軽くアップをして練習に取り組みます



熱田監督からの熱い指導



ナイスボール☆

ナイスボール☆

この目標のストロークを
受けてみよう

先輩は頑張っています

先輩は頑張っています

絶対返してみせる！



そして迎えた決勝。選手も控え
選手も一心同体勝利を願う、優
勝。涙する生徒、胸上げられた監督
そこには信頼という強い絆で結ば
れていました。

糸満女子ソフト部の横断幕に書
かれている「勇猛精進」には、照れ
屋な生徒たちに、荒波に向かう糸
満の漁師のような闘争心を持って
ほしい、そして普段は謙虚に、部活
や勉強を頑張る精進してもらい
たいという監督の願いが込められ
ています。

「目指すは九州制覇。でもまずは一
回戦から」生徒たちが共通して
使う言葉です。目標は大きくても
あつちとなく謙虚に。「勇猛精進」
の精神は着実に生徒たちに引き継
がれています。

互いに迷い、ぶつかり、涙した過
去。その経験を生かし、14人の糸満
代表は、3月19日から2日間、熊本で
開催される九州大会へ出場します。

心を勇猛にして苦戦を克服し、修行に努める。

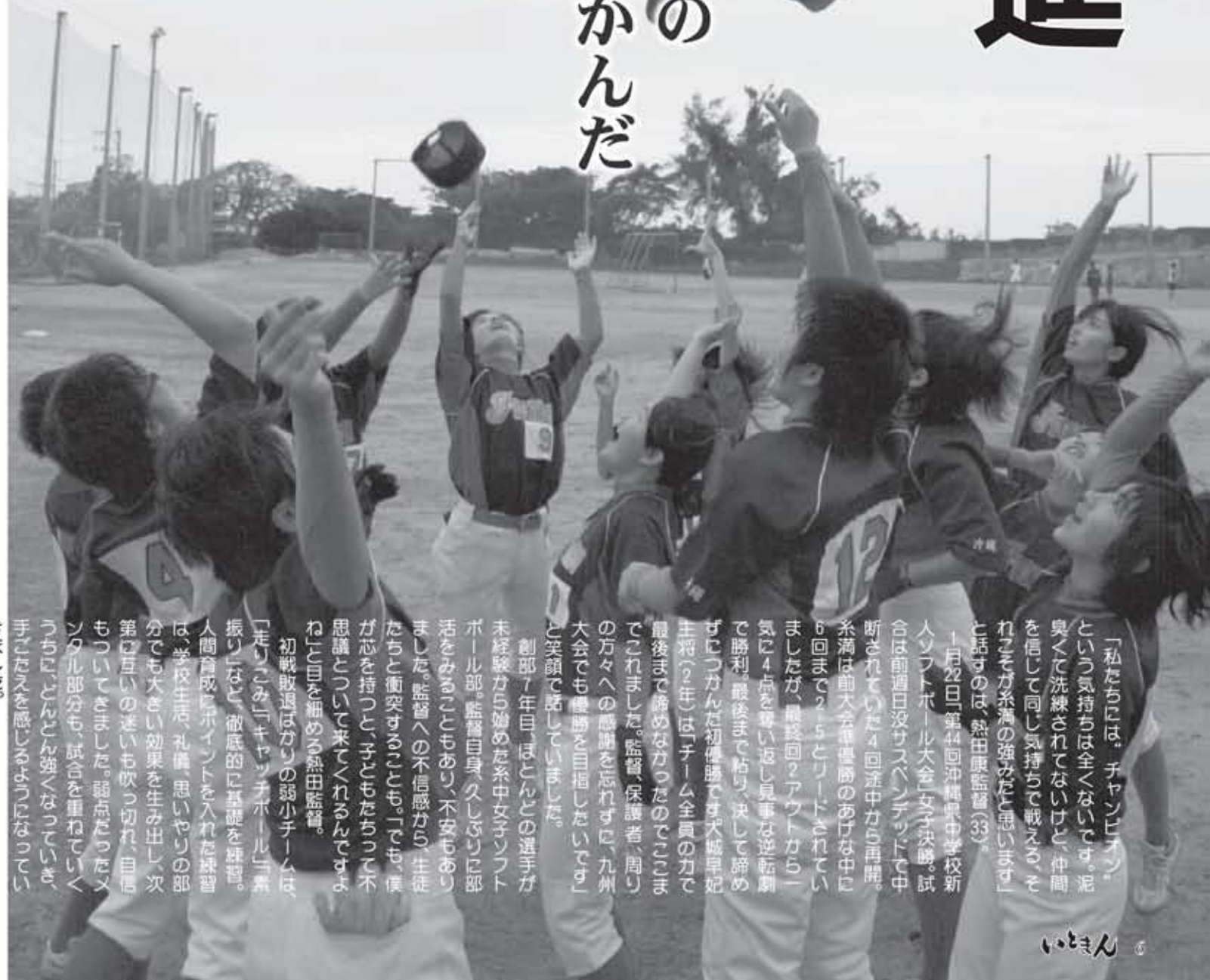
Itohan Junior High School Girls Softball Club

糸満中学校女子ソフトボール部

熱田康監督、大城早紀主将、部員14名

初戦敗退ばかりの
弱小チームがつかんだ
沖縄一の夢

勇猛精進



「私たちに、チャンピオン」
という気持ちは全くなかったです。泥
臭くて洗練されてないけど、仲間
を信じて同じ気持ちで戦える、そ
れこそが糸満の強みだと思っています」
と話すのは、熱田康監督(33)。

1月22日、第44回沖縄県中学校新
人ソフトボール大会「女子決勝」。試
合は前週日没サスペンデッドで中
断されていた4回途中から再開。
糸満は前大会準優勝のあけな中に
6回まで2-5とリードされてい
ましたが、最終回2アウトから一
気に4点を奪い返し見事逆転劇
で勝利。最後まで粘り、決して諦め
ずにつかんだ初優勝です。大城早紀
主将(2年)は「チーム全員の力で
最後まで諦めなかったのがここま
でできました。監督、保護者、周り
の方々への感謝を忘れずに、九州
大会でも優勝を目指したいです」
と笑顔で話していました。

創部7年目、ほとんどの選手が
未経験から始めた糸満女子ソフト
ボール部。監督自身、久しぶりに部
活をみることもあり、不安もあり
ました。監督への不信感から、生徒
たちと衝突することもある。でも、僕
が心を持って、子どもたちとて不
思議について来てくれるんですよ
ね」と目を細める熱田監督。

初戦敗退ばかりの弱小チームは
「走りこみ」「キャッチボール」「素
振り」など、徹底的に基礎を練習。
人間育成にポイントを入れた練習
は、学校生活、礼儀、思いやりの部
分でも大きい効果を生み出し、次
第に互いの迷いも吹っ切れ、自信
もついてきました。弱点だったメ
ンタル部分も、試合を重ねていく
うちに、どんどん強くなっていき
ました。



優秀賞 大城あずみさん
最優秀賞 徳元理子さん
優秀賞 與那城ひなのさん

中学生英語ストーリーコンテスト、最優秀賞は徳元理子さん

2月4日、糸満市農村環境改善センターで「第19回糸満市中学生英語ストーリーコンテスト」が行われ、市内の6中学校を代表する男女12人が参加。審査は、言葉の強弱、発音、表現力などをポイントに行われ、最優秀賞には三和中学校1年、徳元理子さんが選ばれ、優秀賞には糸満中学校2年の與那城ひなのさん、西崎中学校2年の大城あずみさんの2人が選ばれました。3人には、副賞として海外ホームステイ費用の一部が補助金として糸満市から支給されます。

春の逸品展



上/糸満市文化協会の皆さん。右/華道などの作品50点が展示され来庁者の目を楽しませていました。



糸満市文化協会主催「春の逸品展」が2月22日から25日まで、糸満市役所1F市民ホールで行われました。同協会所属の先生方による作品展で、書道、華道、絵画、陶芸などの作品50点が展示され、同協会の国吉恒子会長は「今年度最後の事業になります。市役所を訪れる市民の皆さんに楽しんでほしい」と話していました。



**火の用心！
ふれあい交流会**

2月15日、糸満市防火委員会・女性防火クラブ・幼年消防クラブと、介護福祉施設いとまんシャトー入所者との「ふれあい交流会」が開催されました。この交流会は、高齢者や身体障害者の方々を対象に、火災予防と防火思想の普及を目的として毎年行われているものです。同施設代表の大城初美さんは「たくさんの人とふれあえて嬉しく思います。火の元には気を付けます」とお礼を述べました。

**笑顔の大切さ
伝える**

2月22日、自身にふりかかった困難を乗り越えた心理療法士、元気ドクター・真栄田絵麻さんの講演会「つらい時こそ笑顔で乗り越えよう！〜笑う顔に福来る〜」が市役所で行われました。真栄田さんは「ストレスや悩みは自身の弱さが原因ではなく、脳から出る『しあわせ脳内物質セロトニン』の量が少なくなっているのが原因。笑うことでセロトニンが増えます」と笑顔の大切さを伝えました。



統計業務に尽力

「2010年世界農林業センサス功績者」に伊敷幸榮さん（名城）、「平成22年度統計功績者」に仲門克子さん（米須）が選ばれ、2月17日、上原裕常市長へ喜びの報告に訪れました。伊敷さんは農業を営み、過去にも住宅・土地統計、国勢調査などに従事。また仲門さんは10年以上商工業統計、事業所・企業統計、国勢調査などの各種統計業務に尽力したことが評価されました。





甘くて美味しい
美らキャロットの
季節がやってきた！



にんじん収穫に夢中の園児たち



生産農家から糸満市
教育委員会へ美ら
キャロットが贈呈。
にんじんを袋いっぱい
に詰める園児たち。
見て見て！こんなに
たくさんとれたよ。
収穫祭では、園児ら
の笑顔が溢れていま
した



大人気！にんじんそばには長蛇の列が！野菜スティックやにんじんムーチャー、子どもたちは次から次へと、
にんじん料理に手をのばしていました

平成18年に沖縄県の「にんじん拠
点産地」として認定され、にんじんの
生産量が県内一の糸満市。本市の栽
培面積は約15万坪で、平成21年の生
産出荷量は800トン。同年「美ら
キャロット」が商標登録され、沖縄
ブランドとして県内外に出荷されて
います。

2月5日、本市の生産量の約50%
を占める、にんじんの里「喜屋武」地
区で、にんじん収穫祭が行われまし
た。収穫祭には、市内外から招待され
た幼稚園児と保護者、生産農家など
約200人が参加。

式典で、糸満市農業戦略産地連絡
協議会の山城茂範会長は「にんじん
など、いろいろな野菜をたくさん食
べて強く、たくましい体をつくって
ください」と、あいさつ。生産農家か
ら糸満市教育委員会へ学校給食用と
して美らキャロットが贈られました。
糸満市では、学校給食のほとんどの
献立に糸満産にんじんが使われてい
ます。

式典を終え、園児や保護者は、美ら
キャロット畑に移動。一斉に畑に飛
び出し、時間を忘れて収穫の喜びを
体験しました。

収穫の後には、生産農家や農協の
女性たちが作ったジャムやにんじん
ムーチャー、そばなど、にんじんフル
コース料理が参加者に提供されまし
た。

糸満市では、3月2日の「裏ニンジ
ンの日」まで、さまざまなイベントが
開催されました。



美らキャロット
とたど

2月3日は「にんじんの日」。
2月に収穫の最盛期を迎える糸満産
にんじん「美らキャロット」の収穫
祭が2月5日、喜屋武コミュニティ
センターと美らキャロット畑
で行われました。



スーパー宣紙「イチマン」は広報紙「広報いとまん」のイメージキャラクターとして誕生しました！イチマンは、広報紙面に、たびたび登場します。広報紙面によろしくお願ひします！

キャラクター紹介！
タムプルー（♂）
誕生日：5月4日
特 技：ハーレー・ミーカガン作り
好 物：糸満おぼろ
必殺技：盗みあそび
性 格：個性派でクール
口ぐせ：時化（シケ）タチラサウナー
※4月号は「パッションイエロー」を紹介！

糸満市の火災・救急

災害種別	件 数	前年比
1月の火災	3 (3)	+3
1月の救急	245 (245)	+37

平成22年12月末日現在
()内は平成22年累計

住宅用火災警報器を早期に設置しましょう。

ラジオ広報 FMたまん

■糸満市役所だより

月～金 ①7時45分～7時50分
②12時55分～13時
③17時55分～18時
土・日 ④12時55分～13時

糸満市の人口

世帯数	22,319 (+10)
男	29,582 (-17)
女	29,226 (-9)
総人口	58,808 (-26)
外国人登録者	163 (+1)
平成22年1月末現在	

総面積 46.63km²
平成18年10月1日現在

臨時職員（保育士）募集

人事課 ☎840・8117
資格 保育士資格を有する方
募集人員 若干名
待遇 日額 7,200円
社会保険、雇用保険、有給休暇制度有り
採用 欠員が生じた場合（事前に電話等でご確認ください）
応募方法 人事課に履歴書・資格証明書の写しを提出。

普通救命講習Ⅰの受講案内

消防本部 ☎992・3661
日時 3月27日（日）9時～12時
場所 糸満市消防本部2階講堂
定員 21名（定員に達し次第締め切ります）。電話受付可。

臨時職員（事務補助員）募集

人事課 ☎840・8117
職種 事務補助員
募集人員 若干名
待遇 日額 6,000円
社会保険、雇用保険、有給休暇制度有り

■医科・歯科幹部 応募資格 医師・歯科医師の免許取得者

試験日 5月20日（金）
■一般書候補生
応募資格 18歳以上27歳未満の者
試験日 5月21日（土）
受付期間 2月1日～5月6日
問い合わせ先 自衛隊沖縄地方協力本部島尻分室
☎992・4141

電子証明利用者の有効期間満了について

市民課 ☎840・8125
公的個人認証サービスの電子証明の有効期間は、発行の日から起算して3年間となっています。もし、有効期間が満了し、失効した場合には、国税の電子申告などの電子申請・届出に使うことができません。更新を希望する方は役所の市民課窓口で手続きを行ってください。
尚、更新手続きを行った場合は現在の有効期間は直ちに失効し、新しい有効期間は手続の日から起算して3年間となります。詳しくは、市民課窓口係までお問い合わせください。

児童扶養手当等嘱託員募集

児童家庭課 ☎840・8131
業務内容 児童扶養手当等関する業務
募集人数 1名

婦人相談員募集

児童家庭課 ☎840・8131
業務内容 女性に対する相談指導業務。
募集人数 1名
資格 婦人・児童相談業務の経験有し、概ね55歳以下の者
報酬 月額150,000円（週30時間勤務）
社会保険料 有り
申込方法 3月9日（水）～3月15日（火）までに児童家庭課児童家庭係へ履歴書を提出

市史編集嘱託員募集

生涯学習課 ☎840・8163
業務内容 史資料の収集整理、調査・編集作業など、『糸満市史』編集に関わる業務全般。条件 歴史学や民俗学を専攻した方あるいは市町村誌編纂経験有し、概ね55歳以下の者
報酬 月額140,000円（週30時間勤務）
社会保険料 有り
申込方法 3月9日（水）～3月15日（火）までに児童家庭課児童家庭係へ履歴書を提出

子育て支援嘱託員募集

児童家庭課 ☎840・8131
業務内容 子育て支援事業についての企画、指導及び相談業務等
募集人員 若干名
資格 保育士資格を有し、かつ保育所又は児童厚生施設で10年以上実務経験のある者
報酬 月額87,000円（月～金・週3日・8時30分～17時15分）
応募方法 3月9日（水）～3月15日（火）までに児童家庭課児童家庭係へ履歴書・資格証明書の写しを提出

ファミリーサポートセンター支援嘱託員募集

児童家庭課 ☎840・8131
業務内容 ファミリーサポートセンター支援員業務
募集人員 1名
資格 保育士資格を有し、かつ保育所又は児童厚生施設で10年以上実務経験のある者

臨時職員募集

教育委員会総務課 ☎840・8160
募集人員 若干名
職種 学習・自立支援員（小学校又は中学校の教員資格を有する者）
待遇 日額8,500円（社会保険・雇用保険・有給休暇制度有）
応募方法 履歴書、資格を証する書類の写しを提出
配置 市内の小学校・中学校
※小・中学校の夏休み期間は、基本的に休みになります。

自衛官募集案内

■幹部候補生
（一般・技術）
応募資格 20歳以上26歳未満の者（22歳未満は大卒※見込含）
試験日 5月14（土）・15日（日）※15日は飛行要員のみのみ
（歯科・薬剤）
応募資格 専門の大卒（見込含）
20歳以上30歳未満の者（薬剤は20歳以上28歳未満の者）
試験日 5月14日（土）

公立保育所調理員（臨時）

児童家庭課 ☎840・8131
業務内容 公立保育所の調理
募集人員 若干名
資格 調理師の資格を有する者
賃金 日額6,200円（月～土の週5日・8時30分～17時15分）
社会保険料有り
応募方法 3月9日（水）～3月15日（火）までに児童家庭課保育係へ履歴書・資格証明書の写しを提出

介護予防ケアマネジメント業務嘱託員募集

地域包括支援課 ☎840・8114
①業務内容 地域包括支援センター主任ケアマネジャー業務
資格 主任介護支援専門員の資格を有する者
報酬 月額20万円程度
社会保険完備
募集人数 1名
勤務時間 月～金 9時～16時
②業務内容 介護予防ケアマネジメント業務

保健師等臨時職員募集

願寿館 ☎840・8225
報酬 日額8,700円（社保・雇用保険・有給制度有）
資格 保健師又は看護師
業務内容 願寿館での健康相談業務
応募方法 履歴書に資格の免許証の写しを添えて提出（4月4日より勤務予定）
募集期間 3月15日まで
選考方法 書類審査後、面接にて決定

臨時保健師もしくは臨時看護師の募集

健康推進課 ☎840・8126
資格 保健師もしくは看護師資格を有するもの
採用時期
①4月～9月まで1名
②6月～来年3月まで1名
計2名
申込期間 3月22日（火）まで
※賃金、労働条件等は直接問い合わせください。

総合相談支援業務等嘱託員

地域包括支援課 ☎840・8114
資格 社会福祉士等の資格を有する者
報酬 月額20万円
社会保険完備
募集人数 若干名
勤務時間 月～金 9時～16時
業務内容 総合相談業務等
応募方法 履歴書に資格免許証の写しを添えて提出
応募期間 3月15日まで

児童扶養手当等嘱託員募集

児童家庭課 ☎840・8131
業務内容 児童扶養手当等関する業務
募集人数 1名

児童家庭課

運動指導補助員（臨時）募集
願書締切 840・8225

応募資格 大学の体育系学部を卒業または体育系専門学校、教育機関のカリキュラムを履修した者、若しくは健康運動指導士、運動実践指導士、ヘルスケア・トレーナーの有資格者 1名

業務内容 運動教室等での運動指導補助

待遇 月額8,500円（社保・雇用保険・有休制度有）

応募方法 履歴書に資格の免許証の写しを添えて提出（4月4日より勤務予定）
募集期間 3月15日まで
選考方法 書類審査後、面接にて決定

住宅用火災警報器設置について

消防本部 ☎992・3661

消防法及び糸満市火災予防条例により全ての住宅に平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。まだ、住宅用火災警報器を設置していないご家庭は早めに設置してください。

住民基本台帳カードの無料交付期間終了について

市民課 ☎840・8125

平成20年7月から、本人の身分

本人を確認できる書類（納税通知書、運転免許証など）

②委任を受けた者は、納税義務者からの委任状、縦覧者の印鑑（認印可）

海岸に漂着している外国製廃ポリタンクに注意

生活環境課 ☎840・8124

県内の海岸において外国製廃ポリタンクの漂着が報告されています。中国・ハングル表記等の廃ポリタンクを見つけた場合、危険ですので安易に手を触れないで生活環境課まで連絡ください。

日本赤十字社資募集のお礼

社会福祉課 ☎840・8130

平成22年度の日本赤十字社員増強運動及び日本赤十字社資募集運動につきましては、多くの方から善意の寄付がよせられ、5,878,412円の実績となりました。ご協力いただき心より厚くお礼申し上げます。社資は、国際支援活動・災害救護活動に有効に活用されます。

市民ボランティア清掃

秘書企画課 ☎840・8118

日時 平成23年3月12日（土）
集合時間 9時、西崎運動公園
内野球場西側駐車場
清掃場所 なんぶトリムマラソン大会コース沿道

証明書や公的個人認証カード等として利用できる住民基本台帳カード（住基カード）を無料で交付していましたが、平成23年3月末で無料交付期間が終了します。尚、引き続き住基カードの交付は行いますが、平成23年4月交付分からは手数料（500円）が発生します。

平成23・24年度「物品等」及び「警備業務及び清掃業務等」の入札参加資格申請受付について

総務課 ☎840・8113

平成23・24年度において糸満市が発注する「物品（印刷含む）」及び「警備業務及び清掃業務等」の入札参加資格審査申請を次のとおり受け付けます。

受付期間 平成23年3月1日から随時
受付場所 総務部総務課（市庁舎3階）

登録期間 平成23年4月1日～平成25年3月31日

※要領・申請書の様式は糸満市のホームページ及び総務課窓口にて配布しております。

軽自動車の登録・抹消・減免について

税務課 ☎840・8128

軽自動車税について

軽自動車税については、毎年4月1日現在の車両所有者に、当該

車両等の主たる定置場所所在市町村で課税することとなっています。従って、他人に譲渡した場合、適正な手続きを行って頂かないと納税義務者（所有者）に納付書が送付され、税金を負担しなければならぬ事になります。譲渡、廃車、盗難等にかかる手続きはお早めに行いましょう。

手続場所

①オートバイ125cc以下
糸満市税務課

☎840・8128

②オートバイ125cc超
250cc以下（軽二輪）
軽自動車協会

☎877・8274

③オートバイ251cc以上
（小型二輪）
沖縄陸運事務所

☎50・5540・2091

④軽自動車（四輪）
沖縄県軽自動車協会

軽自動車税の減税について

障害のある方のために使用される軽自動車で、一定の要件を満たす場合においては軽自動車税の減税が受けられます。減免の適用にあたっては納期限前7日前までに申請書を提出しなければなりません。

申告はお済ですか？

税務課 ☎840・8128

市・県民税の申告はお済です

（当日消印）までです。

▼総務省地デジチューナー支援実施センター

☎570・033840

また、地デジ機器購入費用として最大12,000円を補助します。申請書類は県内の家電量販店及び市役所1階の地デジ相談コーナー（市民課記載台隣）で配布中です。

支援対象者 ⑤総務省の支援対象者外で、世帯員全員が市町村民税非課税の世帯 ※申込には平成23年7月24日までに購入した対象機器の領収書が必要です。申込期間は平成23年7月31日までです。

▼沖縄県地デジ支援し隊事務局
☎951・2700

子宮頸がん等ワクチン接種費用の助成について

健康推進課 ☎840・8126

平成23年度一般会計当初予算が可決されましたら、平成23年4月以降の子宮頸がん予防ワクチン（中学1年生・高校1年生相当年齢の女子）、ヒブワクチン（2カ月齢～5歳未満）、小児用肺炎球菌ワクチン（2カ月齢～5歳未満）の接種費用を全額助成する予定です。助成対象者には、4月中旬頃に個別で予診票を送付する予定ですが、届く前に接種をご希望される保護者の方は、健康推進課までご連絡ください。

か？平成23年度市県民税の申告受付が、3月15日（3月13日の日曜日は受付していません）までの期間、市役所で行われています。申告がまだの方は、期間内に申告をお願いします。

受付時間 9時～11時・13時～16時

場所 市役所2階市民ギャラリー

固定資産税の縦覧について

税務課 ☎840・8128

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧制度について

平成23年度固定資産税について、納税者が自己の所有する土地又は家屋が、他の土地又は家屋の価格と比較して適正であるかを確認するための制度です。縦覧に供する範囲（項目）等は次のとおりです。

縦覧できる範囲

土地・・・所在、地番、地目、地籍、価格

家屋・・・所在、家屋番号、種類、構造、床面積、価格

期間 4月1日～4月28日

但し、土、日、祝祭日を除く

時間 9時～12時、13時～17時

場所 糸満市役所2階税務課

縦覧できる方 市内に在する固定資産（土地又は家屋）の納税義務者、または当該納税義務者から委任を受けた者。

■持参するもの

①納税義務者は、印鑑（認印可）、

妊婦健康診査にHTLV-1抗体検査が追加されます！

健康推進課 ☎840・8126

糸満市では、平成23年4月から「妊婦健康診査受診票（HTLV-1抗体検査）」を使用して無料で検査を受けることができるようになります。

平成23年3月31日までに母子手帳を交付した者については4月以降に追加の受診票を個別に郵送もしくは窓口にて配布する予定です。また、平成22年10月以降に市外から転入された方につきましては、健康推進課までご連絡くださるようお願いいたします。

沖縄本島初確認！害虫「ナスミバエ」防除にご協力を！
害虫「ナスミバエ」は、主にナス科野菜（ナス・ピーマン・トマト等）の果実を食害する防除困難な害虫です。防除方法等を知りたい方や被害果実を見つけた方は下記までご連絡をお願いします。
連絡先 沖縄県営農支援課 ☎866-2280
病害虫防除技術センター ☎886-3880
南部農業改良普及センター ☎889-3515
農業研究センター ☎840-8504

緊急地震速報は、強い地震が来る数秒から数十秒前に発表するため、日頃から訓練が必要です。気象庁ホームページに訓練用キットを掲載しています。随時ダウンロードしてご利用ください。（市民生活課 ☎840・8123）



こころの健康相談（予約制）
精神保健福祉士・保健師が応じます
日時 毎月第3水曜日 9時～11時
健康推進課 ☎840-8126

市民相談 市民生活に関する相談に市民相談員が応じます

日時 毎週月・火・水・木 9時～14時
場所 市民生活課 ☎840-8123（※祝日は休み）

多重債務相談 司法書士による無料相談

日時 毎月第3水曜日 9時30分～12時
場所 市民生活課(相談室) ☎840-8123
定員 先着5名まで随時受け付けています。（要予約）

無料法律相談 弁護士による法律相談

日時 毎月第2・4水曜日 13時30分～15時30分
場所 市民生活課(相談室) ☎840-8123
定員 相談日の前日の9時から先着5名（要予約）

行政相談 役所の仕事に関する苦情や意見など

日時 毎月第1・2・3火曜日 14時～16時
場所 市民生活課相談室 ☎840-8123
※上記日程で難しい方は行政相談員と調整してください。
行政相談員 金城栄子 994-5978 酒屋祐定 997-3117
國吉恒子 994-6117

人権相談 親子・夫婦・扶養・相続・いじめ等

那覇地方法務局 人権擁護課 ☎854-1215
人権擁護委員：大城美根子・伊敷康子・大城正清
宮城美恵子・上原研治・久保田曉・徳元勲

健康相談（予約制） 健康についての悩みはこちらまで

日時 第1・3週水曜日「栄養に関する相談」9時～12時
第2・4週水曜日「高血圧、糖尿病、肥満など生活習慣病
市民健診結果についてのアドバイスなど」9時～12時
場所 健康推進課 ☎840-8126

ふれあい福祉相談

日時 毎週月曜日～金曜日 13時30分～17時
場所 社会福祉センター（ふれあい福祉相談室）
☎994-0563／☎852-3000（専用）

障害者相談 県から委託を受けた方々です

身体障害者相談員 櫻木かほる（自）992-2723（職）995-0789
豊平朝清 992-4741
知的障害者相談員 榮盛庄美（自）997-2119

高齢者相談 在宅介護等に関して総合的に応じます

日時 毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時
場所 糸満市地域包括支援センター
地域包括支援課 ☎840-8114

障害者（児）相談 生活・就労等に関する相談や支援

日時 毎週月曜日～金曜日 8時30分～17時30分
場所 市障害者支援センター陽だまり
☎840-8468

教育相談

日時 火・木・金 10時～17時
場所 市青少年センター（がじゅまる児童センター内）
☎995-1957（gajimaru@southernx.ne.jp）

女性相談所

日時 平日 8時30分～17時30分／土・日・祝祭日 10時～17時
場所 沖縄女性相談所 ☎854-1172



国民健康保険課からのお知らせ

■お問い合わせ 国民健康保険課 ☎840-8127

国民健康保険に加入している世帯のうち、国保加入世帯員全員が65歳以上の方だけの世帯では、原則、国民健康保険税の納付方法が「特別徴収」になります。「特別徴収」とは世帯主が受給する年金からあらかじめ差し引かせていただくことにより、国民健康保険税を納付していただく制度です。特別徴収の対象となる人・国保加入世帯員全員が65歳以上であること・世帯主が年額18万円以上の年金を受給していること・介護保険料と国保税の合算額が年金受給額の2分の1を

国民健康保険税の特別徴収（年金からのお支払い）について

を超えないこと。国保税の納め方 年6回の年金支払い額から国保税を特別徴収いたします。4月・6月・8月は、所得が確定するまで仮徴収します。所得確定後に本賦課を行い、年間国保税から仮徴収分を差し引いた額を10月・12月・2月で本徴収いたします。※特別徴収は、多くの場合、口座振替へ切り替えることができます。市役所窓口にご相談ください（口座振替にすることにより、世帯としての所得税・住民税の負担が軽減される場合があります）。

糸満市名所百選 ポストカード展

3/22～3/25 8:30～17:15

糸満市役所2F 市民ギャラリー

問い合わせ 政策推進室 ☎840-8122



第1回入賞作品

1月17日～2月9日にかけて「あなたが撮る糸満市名所百選」をテーマに作品を募集したところ、市内外から多くの応募があり厳正な審査の結果、入賞作品を選定しました。つきましては、同コンテストの授賞式及び作品展を左記のとおり開催します。ぜひ、御覧ください。



新たな糸満市生活改善推進員が誕生

食についてのボランティア活動をする食生活改善推進員が新たに19人誕生しました。総勢41名、糸満市民の健康づくりを行政と協力しながら活動していきます。
問い合わせ 健康推進課 ☎840-8126



国民健康保険課からのお知らせ

■お問い合わせ 国民健康保険課 ☎840-8127

■国保に加入するとき 職場の健康保険などをやめたとき・ほかの市区町村から転入してきたとき（職場の健康保険などに加入していない場合）・子どもが生まれたとき・生活保護を受けなくなったとき ※国保加入の届け出が遅れた場合でも、加入資格を得た月までさかのぼって保険税を納めることとなります（遡及賦課）。また、保険証がない期

間にかかった医療費は全額自己負担になります。■国保をやめるとき 職場の健康保険などに加入したとき・ほかの市区町村に転出するとき・死亡したとき・生活保護を受けるようになったとき ※国保資格がなくなった後で国保の保険証を使って診療を受けた場合、国保で負担した医療費を返してもらいになります。

■切り替え日程
・糸満地区 3月3日～8日
・西川町 3月8日
・潮崎、西崎地区 3月9日～10日
・兼城地区 3月11日～15日
・高嶺地区 3月16日～17日
・真栄里 3月17日
・三和地区 3月17日～23日
※土日祝祭日は休みです。3月27日（日）の13時～17時は、被保険者証の切り替え及び納税相談窓口を開設します。

■8000（小児救急電話相談）のステッカーを配布しています。#8000とは病院が普段やっていない夜間・休日に急に子どもが病気になる心配になったときのための小児救急電話相談です。小児科の医師や看護師が症状に応じたアドバイスをします。利用時間は19時から23時までとなっていますのでご利用ください。

■長寿健康診査の受診期間延長について
本年度の「長寿健康診査（後期高齢者医療制度被保険者対象）」の受診期間が、平成23年3月31日まで延長されました。新たに、有効期限の訂正は行いませんが、未受診者や受診券の訂正を希望される方は、長寿医療係までご連絡をお願いします。

医療費のお知らせを確認しましょう！
現在、医療費のお知らせを、2ヶ月に1回各家庭に送っています。お知らせの内容に疑問がありましたら国民健康保険課までご連絡をお願いします。

国民健康保険被保険者証切り替え及び送付（郵送）のお知らせ

「国保」に加入している皆さんが現在お持ちの被保険者証は、平成23年3月31日までに使用できません。4月1日からは新しい被保険者証に変わります。そのため、3月より次のとおり被保険者証の切り替えを行います。

医療費のお知らせを確認しましょう！
現在、医療費のお知らせを、2ヶ月に1回各家庭に送っています。お知らせの内容に疑問がありましたら国民健康保険課までご連絡をお願いします。



平成22年度糸満市スポーツ少年団全国交流大会

1月22日(土)、糸満市スポーツ少年団の相互の交流と親睦を図り、活動の活性化を促進するため「平成22年度全国交流大会」が西崎総合体育館で開催されました。大縄跳び、綱引き、ドッジビー、リレーの4種目に10団12チーム、250名余が参加しました。

総合成績は次のとおりです。
優勝 兼城バイレーツ
準優勝 琉球ザウルス
3位 西崎アングル

スポーツの尽力者を表彰 平成23年糸満市スポーツ振興懇談会

2月25日、糸満市のスポーツと発展について語る「糸満市スポーツ振興懇談会」が、市農村環境改善センターで開催され、市のスポーツ振興に尽力した方々の表彰が行われました。

表彰者は次のとおりです。

スポーツ功労賞
伊敷義政、大野正勝、伊敷忠、玉城朗永、大城誠豊、玉城則雄
優秀競技者賞
宜保駿、長嶺尚輝、金城史幸、伊敷綾乃、當銘孝仁、山城聖也、大城ちはる、伊敷秀忠
優良スポーツ団体賞
糸満OB実年、男子バスケットボール競技

第15回OKINAWAミニバレーフェスティバル大会報告

2月13日(日)、生涯スポーツとして親しまれているミニバレー大会も15回を迎えました。県外より19チーム、県内より41チームの総勢60チーム、2700人が参加。健康と親睦を深めることができました。

男子の部
優勝 MVゆうな
準優勝 MV黒重要人物
女子40歳未満の部
優勝 かんざし
準優勝 ゆきだるま
女子50歳以上の部
優勝 北あかり
準優勝 チーム潮平
混合40歳未満の部
優勝 HAPPY
混合50歳以上の部
優勝 リブレス



国民健康保険課からのお知らせ (☎840・8127)

平成22年9月1日以降の施術から、整骨院を利用した場合、整骨院は無償で領収書を発行することが義務付けられています。今回、義務づけられる領収書は、保険分合計及び一部負担金並びに保険外の金額の内訳がわかるものとなっています。忘れず領収証をもらいましょう！

更に、費用に係る明細書についても、発行を整骨院に求めたらもらうことができます。この場合、実費相当の料金が発生する場合がありますので、利用する整骨院にお問い合わせください。

はり・きゅう・あんま・マッサージを利用した場合の申請について

はり・きゅう・あんま・マッサージを利用した場合、その

費用は全額をはり・きゅう・あんま・マッサージを行なった方に支払います。その後、国民健康保険課に世帯主の申請により、保険適用相当額が払い戻されことになります。その場合、忘れずに領収証をもらいましょう！

ジェネリック医薬品を利用した場合の差額見込をお知らせしています。

現在、ジェネリック医薬品(後発医薬品)を利用した場合の差額見込を3ヶ月に1回各家庭に送っています。今月はお知らせを通知する月です。このお知らせは、約20〜25年の期間が切れた後に販売される、新薬と同じ有効成分、同じ効能・効果をもつ低価格な薬(厚生労働省の審査承認済)に代替した場合の差額見込通知となっております。ご利用を推奨するものです。



中央図書館

みなよむ ☎995-3746

○休館日

3/7、11、14、21、22、28、4/4、8

○お知らせ

■糸満市内に在勤及び八重瀬町在住の利用者の皆様へ■

現在お使いの中央図書館利用カードは、有効期限が平成23年3月31日までとなっています。引き続き利用される方は、4月以降に更新手続きをお願いします。

○特集・展示

■移動図書館パネル展■

期間 3/15(火)〜3/27(日)

場所 エントランスホール

○おはなし会

日時 3/12(土)・26(土) 15時〜

場所 おはなしのへや

〜絵本と紙芝居の読み聞かせ〜

○上映会

日時 3/20(日) 14時〜

場所 2階集会室

アニメ「学校の怪談」

※入場無料です。



移動図書館 くろしお号

※悪天候時は運休。()内は滞在時間

A 3/23 4/6

高嶺小学校 13:30 (30分)
がじゅまる児童センター 16:10 (30分)
与座区民館 17:00 (30分)

B 3/12 3/26 4/9

兼城ハイム集会所 14:00 (30分)
潮平北側広場 14:40 (30分)
阿波根宿舎 15:20 (30分)

C 3/10

米須小学校 13:30 (30分)

D 3/16 3/30

喜屋武小学校 13:20 (40分)
さつき城自治会館 16:10 (30分)
米須団地 17:00 (30分)

E 3/19 4/2

賀数公民館 10:00 (30分)
おたばる(賀数宿舎) 10:40 (40分)
航空局糸満宿舎 14:00 (30分)
願寿館 14:40 (30分)
西崎1丁目集会所 15:20 (30分)

F 3/20 4/3

西崎さくら公園 10:40 (40分)
パークタウン自治会館 14:00 (30分)
潮平高層住宅 14:40 (30分)
雇用促進住宅 15:20 (30分)

G 3/17

真壁小学校 13:25 (40分)

H 運休

兼城小学校 13:30 (20分)

美優ちゃんを救う会募金のお礼

平成23年の1月12日付けで市役所の総合受付前で募金箱を設置しました。多くの市民から善意の募金が寄せられました。ご協力いただきました、皆様に厚くお礼申し上げます。なお、お寄せいただいた募金については、美優ちゃんを救う会に納付しましたことをご報告いたします。募金額 12,987円

今月号の表紙

にんじん収穫祭

2月3日は「にんじんの日」です。収穫の最盛期を迎える糸満産にんじん「美らキャロット」の収穫祭が2月5日、喜屋武地区で行われました。

今月号のつぶやき

今号特集で出会った金城守さん。「〇時に電話しますね」「電話番号は〇番です」、普段何気ないやりとりが、視覚障害者にとって大変な作業であることに気づき、これまでも障害者に限らず、相手のことをしっかり見ないで、同様の対応をしていたんじゃないかと振り返り反省、とても勉強になりました。(くだ)

毎回取材でインタビューをする時は、好きな人に告白するような錯覚に襲われます。それほど初対面の方に声をかけるのは一大決心&チムドンドンです。でもツンデレなので、はやる気持ちを抑え平静を装います。こうも毎回経験値を積み、最強なレディーになれそうです。インタビュー時の緊張に慣れるため、また今日も恋をします。(あいみ)

自治連絡員会議

3/22・4/5 3-C会議室

寄付 ご芳志ありがとうございます

○社会福祉協議会へ ▼徳元清志さん(米須)より徳元清助様の香典返しとして10万円